

トマトうどんこ病に対する有効な薬剤

農業・園芸総合研究所

1 取り上げた理由

ここ数年、県内のトマト栽培ほ場においてうどんこ病の発生が増加傾向にある。この傾向は、西日本を中心に多くのトマト生産地で見られるが、顕在化してきたのが最近のため、トマトうどんこ病に対する登録農薬はまだ少ない現状である。そこで、野菜類のうどんこ病に登録のある殺菌剤について本病に対する効果を検討したところ、有効な薬剤が明らかとなったので参考資料とする。

2 参考資料

- 1) トマトうどんこ病あるいは野菜類うどんこ病に対する殺菌剤のうちプロピレンモノ脂肪酸エステル乳剤 商品名「アカリタッチ乳剤」2,000倍、脂肪酸グリセリド 商品名「サンクリスタル乳剤」300倍、炭酸水素ナトリウム水溶剤 商品名「ハーモメイト水溶剤」800倍、炭酸水素ナトリウム・無水硫酸銅水和剤 商品名「ジーファイン水和剤」1,000倍、炭酸水素カリウム水溶剤 商品名「カリグリーン」800倍は、トマトうどんこ病の初発以降の散布において高い防除効果を示した。一方、シフルフェナミド・トリフルミゾール水和剤 商品名「パンチョTF顆粒水和剤」2,000倍、イミノクタジンアルベシル酸塩水和剤 商品名「ベルコートフロアブル」2,000倍にも防除効果は認められたが、その効果はやや劣った（図1，2）。
- 2) パチルス・ズブチリス水和剤（商品名「インプレッション水和剤」，「エコショット」など）は、初発生以降の散布では防除効果は劣るが、初発前から7～10日間隔の定期的な散布で高い防除効果を示す（図3，表1）。

3 利活用の留意点

- 1) 現在のところ、県内も含めトマトうどんこ病菌に対する耐性菌の報告はない。
- 2) アカリタッチ乳剤，サンクリスタル乳剤，ハーモメイト水溶剤，ジーファイン水和剤，カリグリーンは，病原菌と直接接触することにより防除効果を示す。発生が認められたらなるべく早くムラのないように丁寧に散布を行う。ただし，ジーファイン水和剤については，成分の一つに無水硫酸銅を含むため予防効果も認められる。
- 3) パチルス・ズブチリス水和剤の詳細については，普及に移す技術第76号参考資料，第79号参考資料及び第80号普及情報を参照する。

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

トマトにおける総合的病害管理技術の確立 平成18年～19年度

2) 参考データ

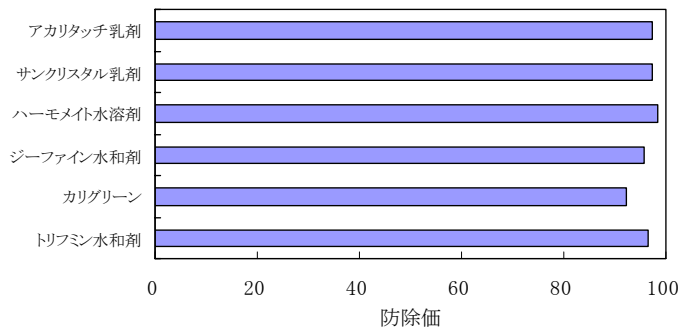


図1 トマトうどんこ病に対する薬剤の効果 (平成18年・ポット試験)

注) 供試品種: ハウス桃太郎 薬剤散布: 11月9日 (1回) 調査: 11月17日

散布前の発生状況: 中発生 防除価は発病小葉率から算出

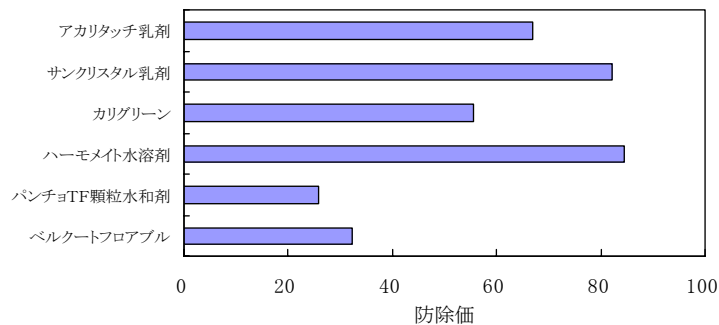


図2 トマトうどんこ病に対する薬剤の効果 (平成19年・ほ場試験)

注) 供試品種: 桃太郎エイト 定植: 5月10日 薬剤散布: 7月19日, 26日 (2回)

調査: 8月7日 散布前の発生状況: 多発生 防除価は発病小葉率から算出

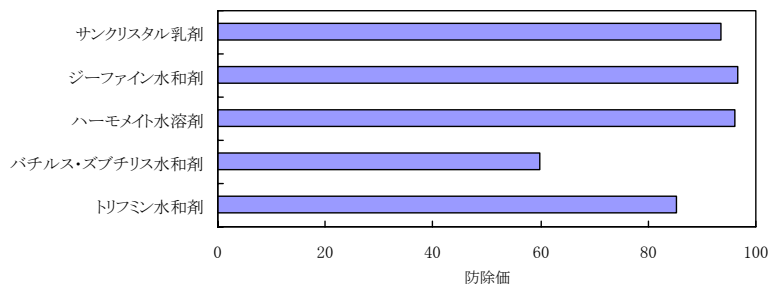


図3 トマトうどんこ病に対する薬剤の効果 (平成19年・ポット試験)

注) 供試品種: ハウス桃太郎 薬剤散布: 10月17日, 22日 (2回)

調査: 10月29日 散布前の発生状況: 少発生 防除価は発病小葉率から算出

表1 トマトうどんこ病に対するパチルス・ズブチリス水和剤の予防効果 (平成19年・ほ場試験)

供試薬剤	発病小葉率(%)	防除価
パチルス・ズブチリス水和剤	0.5	95.5
無処理	11.1	

供試品種: ハウス桃太郎 定植: 8月21日 薬剤散布: 9月14日, 21日 (2回)

調査: 9月28日 散布前の発生状況: 無発生

3) 発表論文等 なし